

各位

2026年5月15日
公益財団法人 SBI 子ども希望財団

SBI 海外体験プログラム実施に関するお知らせ

公益財団法人 SBI 子ども希望財団（所在地：東京都港区、理事長：世耕久美子、以下「当財団」）は児童虐待等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉の向上を目的に、様々な活動を行っております。その中で、「SBI 英語教育支援プログラム」を2014年に開始し、英語学習教材の提供や英語学習費用の助成を継続してまいりました。このプログラムでは、児童養護施設の子どもたちが、英語学習を通じてコミュニケーション能力を高め、自信と自己探求意欲を育むことで、最終的に英語力の向上を通じて自立の支援となり、将来の夢や希望を持つ機会の創出となることを目指したものです。

これまで、英語学習教材の提供等だけではなく、外国人講師による施設訪問プログラムやイングリッシュキャンプを行う等、外国人講師と直接会話をする機会も提供してまいりましたが、子どもたちが実際に海外に行き、“世界を見る”体験をして欲しいと考え、「SBI 英語教育支援プログラム」を受講した児童養護施設の子どもたち（高校生）を対象に、2024年度から「SBI 海外体験プログラム」を実施してまいりました。これまではアメリカのシアトル及びロサンゼルスを訪問しましたが、昨今の情勢を考慮して、今年度はオーストラリアのシドニーへ選考を終えた15名の高校生たちが渡航する予定です。

これまで参加した高校生は、アメリカでのホームステイや企業訪問、ボランティア体験等様々なプログラムに積極的に取り組み、充実した時間を過ごしていました。参加者からは「もっといろんな国の人と出会って交流を深めながら、自分の考えを持ち相手の考えを尊重できるような人間に成長していきたい」「人と話すことが苦手だった自分が今回のプログラムで人と話すことが好きになった」、「進学や社会に出たとき、知らないことにチャレンジする心を忘れないでいようと思った」といった感想もあり、本プログラムを通じて将来についてより深く考えるきっかけになったり、自分自身に自信を持ったりと、参加者それぞれが多くの学びを得たようです。

今年度は初めてオーストラリアでの実施となりますが、海外での様々な経験を通じて異文化や多様性を感じることで、子どもたち自身の視野を広げることを目的とし、子どもたちが将来の目標を見つける、または生きていく上での原動力となるような体験ができればと考えております。

<『SBI 海外体験プログラム 2026』実施概要>

【日程】2026年7月28日（火）～8月5日（水）7泊9日（最終日は東京都内宿泊予定）

【行き先】オーストラリア シドニー

【参加人数】児童養護施設で生活する高校生15名

【選考方法】第1次選考：参加申込書、参加希望者本人の作文、施設長様の推薦書による書類選考

第2次選考：書類選考通過者に対し、外国人講師による面接によって最終決定

詳細は当財団ホームページをご参照下さい。

SBI 英語教育支援プログラムについて

<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan/activity/education.html>

当財団では今後も、子どもたちが自分の可能性を追求し、希望を持ちながら自立していけるような支援活動を目指し、入所施設の改善・充実はもちろんのこと、子どもたちの育成にも焦点を当てた活動を展開してまいります。今年度からは新たに児童養護施設の子ども達向けの金融教育やAI教育も開始する予定です。

【公益財団法人 SBI 子ども希望財団 概要】

SBI 子ども希望財団は虐待を受ける等厳しい境遇に置かれた子どもたちの福祉向上を目的に 2005年10月に、SBIグループの社会貢献活動を行う財団法人として設立され、2010年3月に公益財団法人へ移行しました。被虐待児童が生活する児童養護施設の小規模化への助成事業、児童福祉施設等への寄付や児童養護施設の職員を対象とした研修、施設退所後の子どもたちの自立支援のほか、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止啓発活動も積極的に行っています。

SBI 子ども希望財団のホームページ：<https://www.sbigroup.co.jp/zaidan/>

以上

【お問い合わせ先】

本プレスリリースについて:

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

SBI子ども希望財団の活動について:

公益財団法人 SBI 子ども希望財団 03-6229-1003